

お客様各位

平素よりアジレント製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

高品質の製品を提供するための取り組みの一環として、Agilent Genomic DNA 165kbキット (FP-1002-0275)の構成品である Agilent 165kb DNA Ladder (FP-7002-U035)の組成を変更しました。この新しい組成はラダ断片を安定化し、ラダの長期性能を向上させます。Figure 1Bに示すように、安定化ラダは、異なるタイミングで分析した場合でも一貫したピーク高を示し、より信頼性の高い分析が可能になります。また、性能と長期安定性の向上に加え、生産量の増加が見込まれるため、納期も改善されます。以下に、オリジナルのラダと安定化ラダの比較を示します。

Figure 1A:

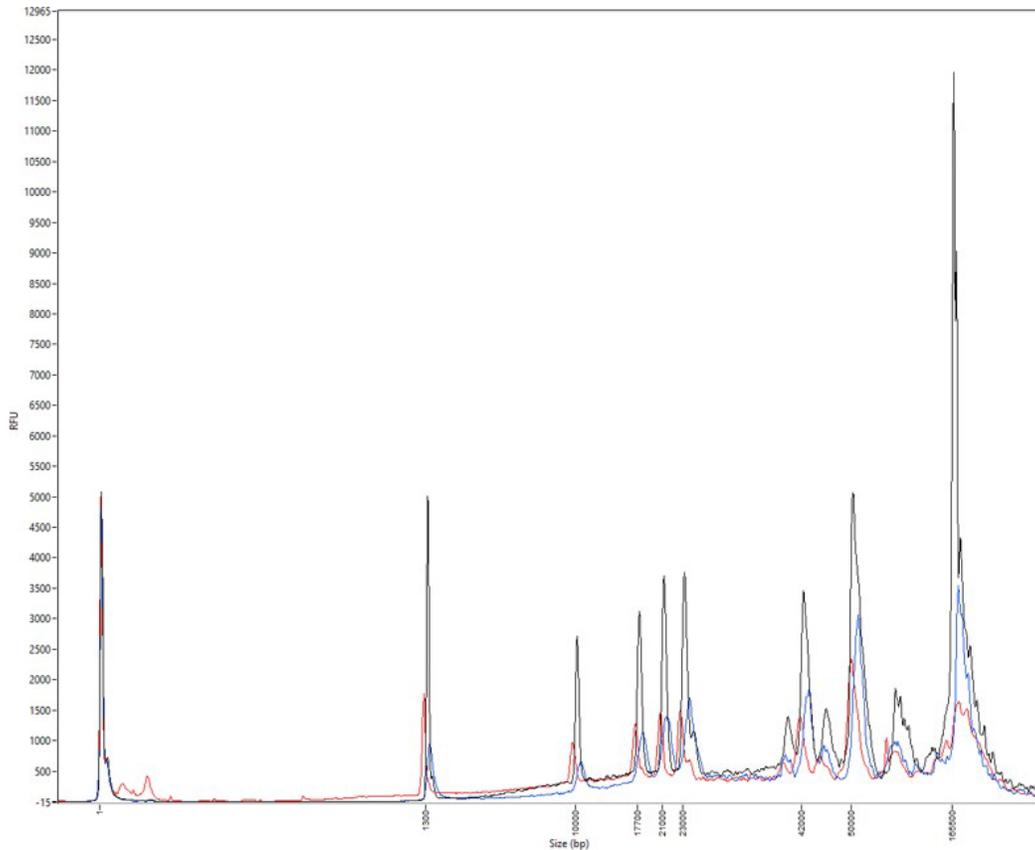


Figure 1B:

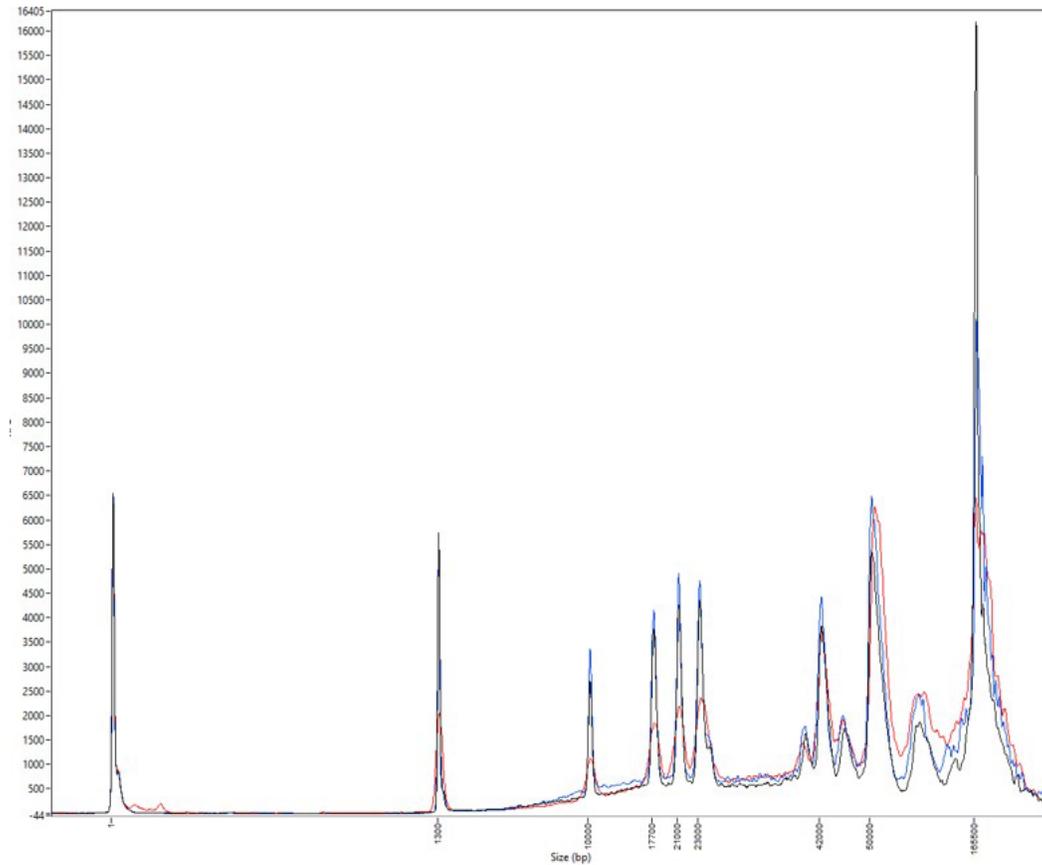


Figure 1: オリジナル(A)と安定化(B) Agilent 165kb DNA Ladder (FP-7002-U035)はラダ断片の安定性を調べるために、1年間にわたりAgilent Femto Pulse Systemで分析されました。どちらのラダも、0ヶ月（黒）、6ヶ月（青）、12ヶ月（赤）の3つの時点で評価されました。安定化ラダの画像は、長期保存において高分子量フラグメントの性能がより安定していることを示しています。

安定化ラダの出荷は2022年12月19日以降に開始します。

Sincerely,



Marko Marinkovich
Product Manager-PCE Reagents